

令和7年度「全国学力・学習状況調査」の結果 －分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について－

区名	東淀川区
学校名	大隅西小学校
学校長名	出口 みか

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和7年4月17日（木）に、6年生を対象として、「教科（国語・算数・理科）に関する調査」と「児童質問調査」を実施いたしました。

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査内容

(1) 教科に関する調査

- ・国語
- ・算数
- ・理科

(2) 質問調査

- ・児童に対する調査
- ・学校に対する調査

3 調査の対象

- ・国・公・私立学校の小学校第6学年の原則として全児童
- ・大隅西小学校では、第6学年 25名

令和7年度「全国学力・学習状況調査」結果の概要

今年度の平均値は、国語では大阪市平均より4ポイント下回り、算数では大阪市平均より3ポイント下回る結果となった。理科では大阪市平均と同水準であった。国語の無答率は大阪市平均よりも1.5ポイント上回る結果となっている。しかし、算数や理科の無答率は全国や大阪市よりも低い水準であり、子どもたちが難しい問題でもあきらめずに取り組もうとする姿が見られた。

分析から見えてきた成果・課題

教科に関する調査より

〔国語〕語彙や文法など基礎的な知識に関する問題で全国・大阪市の平均と同水準以上の結果が示され、日々の家庭学習や自主学習の積み重ねによる基礎・基本の定着がうかがえる。一方で、「話すこと・聞くこと」や「書くこと」に関する活用的な言語活動を求められる問題では、全国平均を下回る傾向が見られた。特に、本文の内容をもとに自分の考えを述べたり、思考の過程を文章で表現したりする問題に課題が残っている。

〔算数〕全ての領域で全国および大阪市の平均正答率と近い結果が見られ、基礎的な内容の理解は概ね定着している。しかし、平均正答率や中央値が全国平均をやや下回っており、学習内容を確実に身に付ける点に課題がある。問題文の意図を十分に把握せずに解答へ進む傾向や、自分の考えを筋道立てて説明・記述する力の弱さが見受けられる。

〔理科〕平均正答率および中央値が大阪市平均（公立）と同水準を維持しており、応用的な問題に対応できる児童が一定数存在していることが全体の成果を支えている。ただし、全ての領域で全国平均を下回り、特に生命分野での正答率が低い傾向が見られた。既習内容の知識は持っているものの、それを活用して科学的に考察する設問への対応に苦手意識がうかがえる。

質問調査より

本校の児童質問紙調査の結果から、他者との関わりや集団活動に対する意識は高い肯定的傾向が見られる。「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」という設問ではすべての児童が肯定的に回答し、いじめに対する高い規範意識が育まれていることが示された。また、「授業や学校生活で友達の考えを大切にし、協力して課題を解決していますか」という設問でも96.0%が肯定的に回答しており、協力的な態度が日常的に定着していることがうかがえる。また、「自分にはよいところがあると思いますか」という設問では92.0%と肯定的な回答となり、全国平均（86.9%）を上回る結果となった。「話し合い活動を通して自分の考えを深めたり、新たな考えに気付いたりしていますか」という設問では88.0%が肯定的であるものの、思考の深化を実感する児童は相対的に少なく、話し合い活動の質的充実が求められていることが示されている。

今後の取組(アクションプラン)

本校では、学校生活で育まれている協力性や規範意識を生かし、児童一人ひとりが主体的に学び、互いに考えを伝え合う力を伸ばすことが学力向上につながると考えている。話し合いや協働学習を通して、自分の考えを整理して表現する力を育てると同時に、友だちの意見から新たな発見を得る経験を重ねることで、記述力や論理的思考力、問題解決力、科学的に考える力など、さまざまな学びの力を総合的に伸ばすことができる。友だちとの交流を通じて学ぶことで、自分の考えをより深め、他者を尊重しながら柔軟に思考する力も育成される。また、こうした活動を通して、自分の成長やできることを実感する機会を増やすことで、自己肯定感を高め、学習への意欲をさらに引き出すことができる。家庭や地域との連携も活用し、学校生活全体で学力を支える環境を整えることで、児童が前向きに挑戦し、主体的に学ぶ力を育していくとともに、本校教育目標の中にも掲げている「一人もひとりにしない学び合い」をもとに児童一人ひとりと取り組みを進めていきたい。

【 全体の概要 】

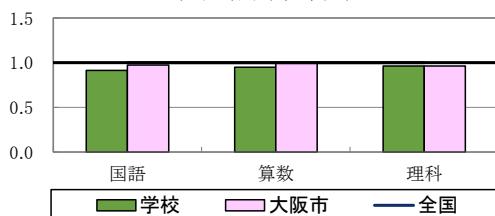
平均正答率 (%)

	国語	算数	理科
学校	61	55	55
大阪市	65	58	55
全国	66.8	58.0	57.1

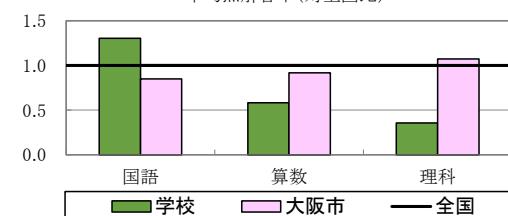
平均無解答率 (%)

	国語	算数	理科
学校	4.3	2.1	1.0
大阪市	2.8	3.3	3.0
全国	3.3	3.6	2.8

平均正答率(対全国比)



平均無解答率(対全国比)



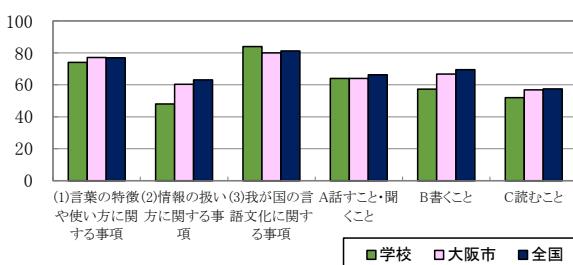
【 国語 】

学習指導要領の内容	対象設問数(問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
(1)言葉の特徴や使い方に関する事項	2	74.0	77.1	76.9
(2)情報の扱い方に関する事項	1	48.0	60.4	63.1
(3)我が国の言語文化に関する事項	1	84.0	79.9	81.2
A 話すこと・聞くこと	3	64.0	64.0	66.3
B 書くこと	3	57.3	66.7	69.5
C 読むこと	4	52.0	56.9	57.5

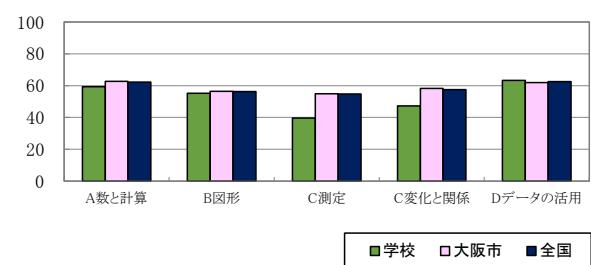
【 算 数 】

学習指導要領の領域	対象設問数(問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
A 数と計算	8	59.4	62.7	62.3
B 図形	4	55.2	56.4	56.2
C 測定	2	39.6	54.9	54.8
C 変化と関係	3	47.2	58.2	57.5
D データの活用	5	63.3	61.9	62.6

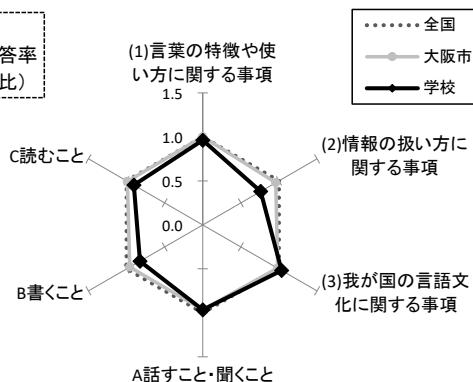
国語 内容別正答率(学校、大阪市、全国)



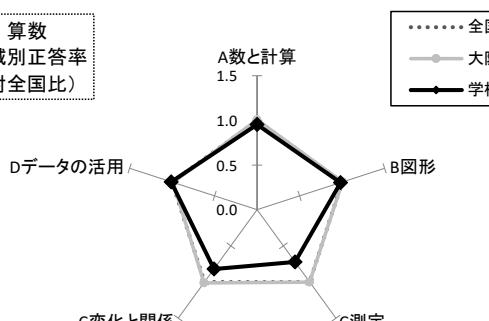
算数 領域別正答率(学校、大阪市、全国)



国語 内容別正答率(対全国比)

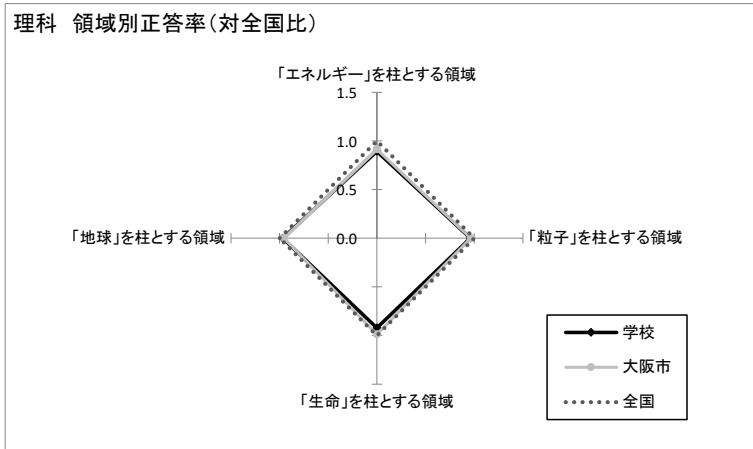
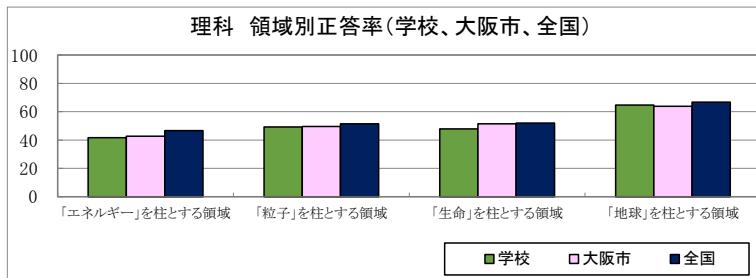


算数 領域別正答率(対全国比)



【 理科 】

学習指導要領 の区分・領域	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
A 分 区	「エネルギー」を 柱とする領域	4	41.7	42.7
	「粒子」を 柱とする領域	6	49.3	49.5
B 分 区	「生命」を 柱とする領域	4	47.9	51.4
	「地球」を 柱とする領域	6	64.6	63.8



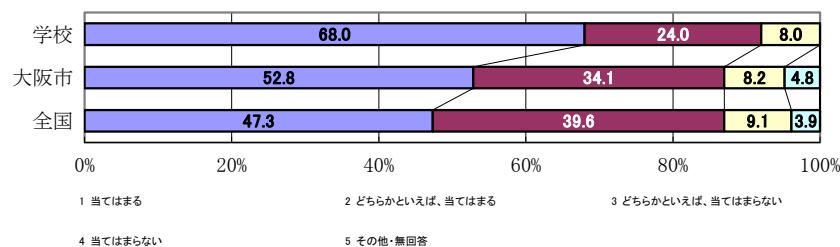
児童質問より

■1 ■2 □3 □4 □5 ■6 ■7 ■8

質問番号
質問事項

5

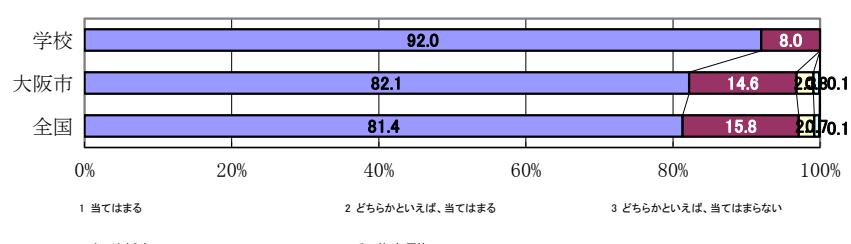
自分には、よいところがあると思いますか



1 当てはまる 2 どちらかといえば、当てはまる 3 どちらかといえば、当てはまらない
4 当てはまらない 5 その他・無回答

9

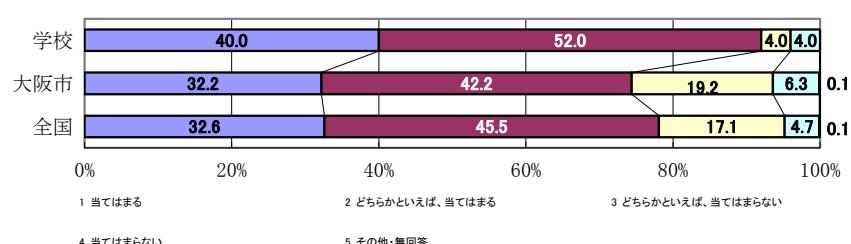
いじめは、どんな理由があつてもいけないことだと思いますか



1 当てはまる 2 どちらかといえば、当てはまる 3 どちらかといえば、当てはまらない
4 当てはまらない 5 その他・無回答

13

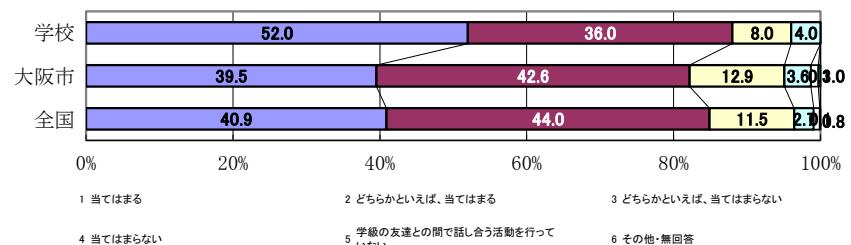
自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか



1 当てはまる 2 どちらかといえば、当てはまる 3 どちらかといえば、当てはまらない
4 当てはまらない 5 その他・無回答

35

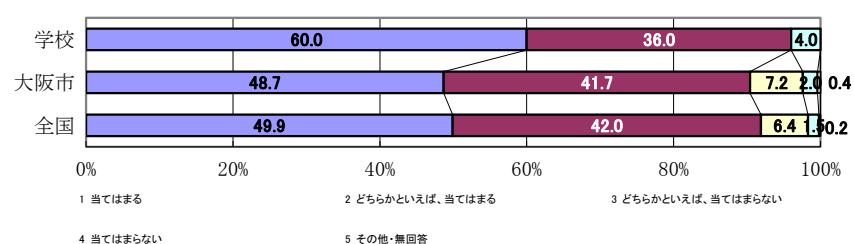
学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方方に気付いたりすることができますか



1 当てはまる 2 どちらかといえば、当てはまる 3 どちらかといえば、当てはまらない
4 当てはまらない 5 学級の友達との間で話し合う活動を行ってない 6 その他・無回答

39

授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切にして、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいますか



1 当てはまる 2 どちらかといえば、当てはまる 3 どちらかといえば、当てはまらない
4 当てはまらない 5 その他・無回答

学校質問より

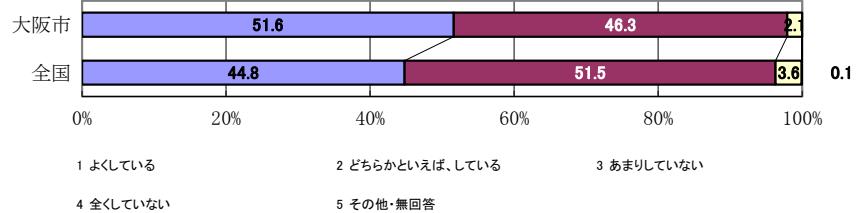
■1 ■2 ■3 ■4 ■5 ■6 ■7 ■8 ■9 ■10

質問番号
質問事項

17

言語活動について、国語科を要としつつ、各教科等の特質に応じて、学校全体として取り組んでいますか

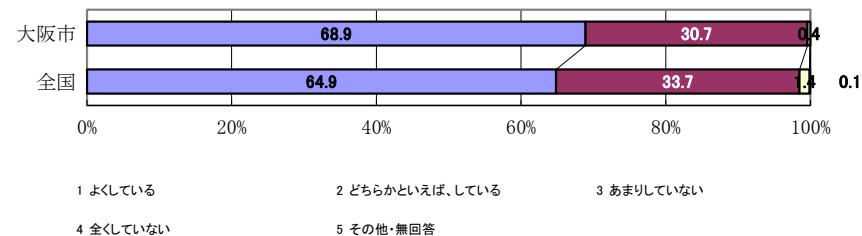
学校 「どちらかといえば、している」を選択



18

授業研究や事例研究等、実践的な研修を行っていますか

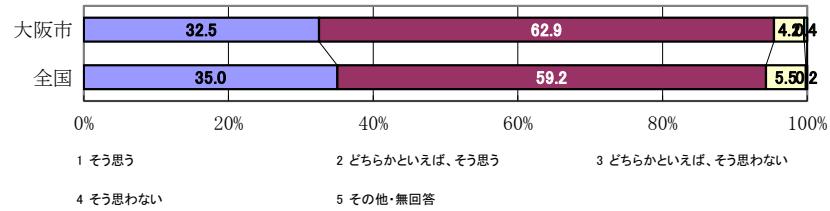
学校 「よくしている」を選択



28

調査対象学年の児童は、授業や学校生活では、友達や周りの人の考え方を大切にして、お互いに協力しながら課題の解決に取り組めていると思いますか

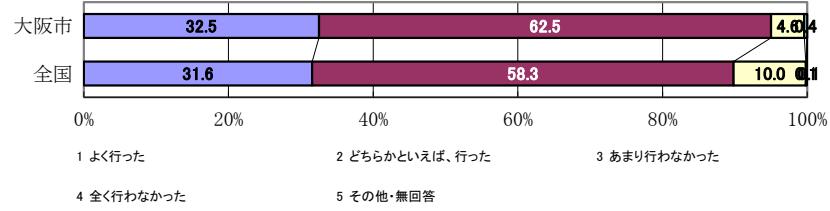
学校 「そう思う」を選択



32

調査対象学年の児童に対して、前年度までに、授業において、児童自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を取り入れましたか

学校 「よく行った」を選択



34

調査対象学年の児童に対して、前年度までに、各教科等で身に付けたことを、様々な課題の解決に生かすことができるような機会を設けましたか

学校 「よく行った」を選択

